

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修クラス	2年全クラス	
				担当者	小林 正直 黒川 孝夫 福島 信昭 結城 徹 岡村 貴彦	
使用教科書		「数学Ⅱ」・東京書籍			履修単位数	3
副教材等		「ニュースコープ数学Ⅱ」・東京書籍				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
基礎・基本の定着を図り、生徒に数学の知識と原理的にものごとを考える力をつけさせることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 定式に沿って、単純に発想するのではなく、自由な発想で問題解決に取り組む者を高く評価する。 ● 出席状況、平常の学習態度を考慮して、個々の能力を適正に評価する。 ● 個々の問題にとらわれず、問題を通して基礎概念を深く理解しているかを観る。

年間授業計画			
月	予定時数	単元	学習内容・学習活動
4	中間 考査 まで 18	整式の除法と 分数式 2次方程式 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ● 商・余り・除法の計算・因数・約分・通分・四則演算 ● 虚数単位・複素数・解の公式・判別式・解と係数の関係 ● 2次式の因数分解・複素数の範囲における因数分解 ● 与えられた2数を解とする2次方程式○剰余の定理・因数定理・n次方程式
5			
6	期末 考査 まで 21	式と証明 点と直線 円	<ul style="list-style-type: none"> ● 恒等式・等式の証明・比例式 ● 直線上及び平面上の2点間の距離 ● 直線上及び平面上の内分点・中点・外分点 ● 直線の方程式・2直線の平行及び垂直条件 ● 円の方程式・三角形の外接円・円と直線の共有点
7			
9	中間 考査 まで 21	軌跡と領域	<ul style="list-style-type: none"> ● 座標を利用して軌跡を求める・アポロニウスの円 ● 不等式の表す領域 ● 連立不等式の表す領域
10			
11	期末 考査 まで 21	指数・対数関 数	<ul style="list-style-type: none"> ● 指数法則・指数関数・グラフ・方程式・不等式 ● 対数の定義・対数関数・グラフ・方程式・不等式
12			
1	学 期 末 考 査 ま で 24	微分と積分	<ul style="list-style-type: none"> ● 平均変化率・関数の極限・微分係数・導関数・定数関数 ● 接線の方程式・増減表・関数の極大極小 ● 極大値極小値の求め方・関数の最大値最小値 ● 原始関数・不定積分・積分定数・定積分・積分の公式 ● 定積分と面積・2曲線間の面積
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
<p>○公式のたんなる当てはめではなく、基礎概念を根本から理解する</p> <p>○例題・問題演習など、根気強く丁寧にやる</p> <p>○家庭学習：数学は毎日3時間勉強する。具体的には、「チャート式数学Ⅱ (いわゆる赤チャート)」・数研出版の問題を40題(80題は厳しいが40題なら可能である)やる。これを習慣とすれば、駿台模試で偏差値62以上、他の模試では70以上取れる力が確実につく。</p>

